

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 高齢者福祉の充実

基本事業 施設サービス機能の充実

事業名 **いきいきセンターさわまち管理運営事業**

[5126]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成9年度	実施計画事業認定	非対象
課名	介護保険課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>いきいきセンターさわまち 65歳以上の高齢者</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>施設の維持管理・運営を適切に行い、高齢者の健康、生きがいづくりを支援する。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>施設の管理運営を指定管理者に委託する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	65歳以上の高齢者	人	24,645	25,627	26,383	27,139
対象指標2	施設数	施設数	1	1	1	1
活動指標1	デイサービス利用登録者数	人	135	121	131	140
活動指標2	指定管理委託料	千円	73,224	72,944	72,892	64,630
成果指標1	利用者数(一般+デイサービス)	人	27,806	26,952	25,470	28,000
成果指標2	不具合件数	件	35	41	42	20
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	73,223	72,944	73,320	72,811
正職員人件費(B)		千円	251	251	249	500
<b>総事業費(A)+ (B)</b>		<b>千円</b>	<b>73,474</b>	<b>73,195</b>	<b>73,569</b>	<b>73,311</b>

費用内訳	
21年度	需用費 428千円、委託料 72,892千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始  
背景

事業を  
取り巻く  
環境変化

### 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

高齢者は年々増加しており、介護予防のため、公社事業として運営を行うことは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

高齢者の在宅での生活を支えることができ、介護予防に対し貢献度が大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

高齢者に対する教室や介護予防事業等を実施し、高齢者福祉の先導的役割を果たしている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

これまでも業務運営体制の見直しなどで改善を図ってきており今後も成果向上の余地はある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

管理運営経費の節減に努めてきたが、今以上の削減は難しい。